

東北中学校体育連盟 設立70周年記念大会

令和7年度東北中学校体育大会

第46回東北中学校陸上競技大会要項

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、東北の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 東北中学校体育連盟 東北陸上競技協会 福島県教育委員会 福島市教育委員会
- 3 後援 東北地区中学校長会 福島県中学校長会 青森県教育委員会 岩手県教育委員会
宮城県教育委員会 秋田県教育委員会 山形県教育委員会
(公財)福島県スポーツ協会 福島市 共同通信社仙台支社
- 4 主管 福島県中学校体育連盟 (一財)福島陸上競技協会 県北地区中学校体育連盟
- 5 会期 令和7年8月5日(火)～7日(木)
【競技日程】
8月5日(火)公式練習 10:00～17:00 (本競技場・補助競技場)
8月6日(水)開始式 8:30～(メインスタンド)
競技開始 9:30
8月7日(木)競技開始 9:30 ※閉会式は実施しない
- 6 会場 とうほう・みんなのスタジアム
〒960-2158 福島県福島市佐原神事場1 TEL:024-593-1111
受付:とうほう・みんなのスタジアム(正面玄関付近)
- 7 参加資格 (1)学校教育法第1条に規定する中学校*に在籍し、各県中学校体育連盟加盟校に在籍する生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では、「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部とする。
(2)同一年度内の参加者は、全種目を通じて一人1種目とする。
(3)過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達する年度まで出場できるものとする。また、学年指定種目については該当年齢とする。
(4)参加資格の特例(各種学校等)
①学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件
(ア)東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
(イ)生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
(ウ)参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件
(ア)東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
(イ)東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
(ウ)大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
(5)参加資格の特例(地域クラブ活動に所属する中学生)
①地域クラブ活動に所属し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②東北大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件
(ア)東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
(イ)生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。

- (ウ) 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
- (エ) 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
- (オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは各県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で各県中学校体育連盟に登録していること。
- (カ) 各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- (キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
- イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 東北大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 東北大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - (エ) 団体競技（種目）における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。
- ウ チーム編成の条件（東北中体連独自の取決め）

団体競技（種目）に参加する際は、同一県内中学校に在籍する選手でチームを編成することとし、県境を越えたチーム編成は認めない。
- エ 参加を認めない場合

本大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

- ※1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。
- ※2 上記特例については、専門部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。
- ※3 上記特例については、今後も検討を続けていく。

(6) 拠点校部活動の参加

現行の（公財）日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規定」の範囲内を原則とし、各県中学校体育連盟に承認され、東北大会出場権を得たチームについては参加を認める。

8 引率者及び監督等

- (1) 学校においては、引率者及び監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で登録できる学校は1校のみであること。
 - ① 満20歳以上であること。
 - ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
 - ③ 次のいずれかに当てはまる者とする。
 - ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
 - イ （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
 - ウ 自治体（含む教育委員会）、体育（スポーツ）協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

※ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者に任用されている者をいう。
- (2) 外部・校外コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部・校外コーチとしてベンチに入ることは認めない。マネージャーは出場校の教員または生徒とする。
 - ※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
 - ※校外コーチ…クラブ・道場などの指導に当たっている者。
- (3) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で監督、コーチとして登録できるチームは1校（チーム）のみであること。
- (4) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。

- (5) 当該校に部活動がない個人種目については別紙「東北中学校体育大会引率・監督細則」に基づき特例を認める。
- (6) コーチ確認書（校長承認書）の提出については専門部の申し合わせ事項による。
- (7) 学校において、引率・監督について開催基準や引率細則に当てはまらない状況がある場合は所属県中体連が当該大会実行委員会へ相談すること。

9 参加制限

- (1) 一人1種目とする。ただし、リレー競技を除く。
- (2) 1種目各県4名の参加とする。リレー競技は各県4チームとする。
- (3) 学校（チーム）ごとの出場制限は、1種目につき3名までとする。
- (4) 学年種目は、当該学年に限る。共通種目は1・2・3年オープンとする。
- (5) リレー競技のチーム編成は、単独チームによる男女別とする。リレー競技は2種目を兼ねることができない。
低学年4×100mRの登録は6名以内とし、各学年4名までとする。メンバーは2年生2名、1年生2名とし、オーダーは自由とする。

10 競技規則

2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および競技注意事項、申し合わせ事項による。

11 競技方法

(1) 競技種目

①男子の部（17種目）

種別	種目
1年	100m 1500m
2年	100m
3年	100m
1・2年	低学年4×100mR（1・2年各2名でオーダーは自由）
2・3年	1500m
共通	200m 400m 800m 3000m 110mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投 四種競技（110mH・砲丸投・走高跳・400m）

②女子の部（14種目）

種別	種目
1年	100m 1500m
2年	100m
3年	100m
1・2年	低学年4×100mR（1・2年各2名でオーダーは自由）
2・3年	1500m
共通	200m 800m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投 四種競技（100mH・走高跳・砲丸投・200m）

③ハードルの規格

	台数	高さ	スタートから第1ハードル	ハードル間
男子	10	0.914m	13.72m	9.14m
女子	10	0.762m	13.00m	8.00m

④砲丸の重さ

男子 共通：5.000kg 四種競技：4.000kg
女子 共通：2.721kg 四種競技：2.721kg

⑤四種競技の競技順序は、原則として上記競技種目①②に記載の順序で行う。

- (2) 男女別学校対抗とし、得点の合計により順位を決める。同点の場合は、1位決定の場合に限り優勝種目数により決定する。優勝種目数が同数の場合は最上位の入賞者数で決定する。その他については、同順位とする。得点は、1位8点、2位7点…8位1点とする。※地域クラブは、対象としない。

12 表彰

- (1) 各種目の1位から8位まで賞状を授与する。
- (2) リレー競技の1位から3位のチームには個人賞状も授与する。
- (3) 総合は6位まで賞状を授与し、優勝校には持ち回りの優勝杯を授与する。

13 参加料

- (1) 参加生徒一人2,000円とする。また、参加生徒は参加料の他に1,000円(アスリートビブス代500円・熱中症対策費500円)を負担すること。
- (2) 申込後の出場辞退や欠場の場合における参加料の返金は行わない。
- (3) 参加料は、アスリートビブス、プログラム代等と合わせて下記の口座に振り込むこと。振込手数料は、各チームの負担とする。
- (4) 【振込期限】令和7年8月1日(金) 17:00【厳守】

振込先	金融機関：三菱UFJ銀行 ききょう支店
	口座番号：普通口座 1781267
	口座名義：近畿日本ツーリスト株式会社
	キンキニッポンツーリストカブシキガイシャ

14 参加申込

- (1) 申込方法
 - ①参加校・チームは、申込様式Aに必要事項を記入の上、校長(代表責任者)印を押印した原本をPDF化(ただし、フルカラー 300dpi以上に限る)し、各都道府県委員長にデータで提出する(PDFとExcel両方)。
※福島県中体連HPから様式Aはダウンロードしてください。
※申込期日は、予選会期日が異なるため、各県専門委員長が定める期日となります。
 - ②各県専門委員長は、参加校から提出された様式Aと様式B、様式Cのデータを下記アドレスに送付する。
- (2) 【申込締切】令和7年7月25日(金) 17:00【厳守】

(3) 申込先

【申込先】第46回東北中学校陸上競技大会 福島県実行委員会
担当 渡部 裕也(福島県中体連陸上競技専門部委員長)
TEL: 0242-27-0715
E-mail: fukushima7t.f@gmail.com (申込専用アドレス)

15 諸会議

- (1) 代表者会議

日時	令和7年8月5日(火) 12:00～
場所	とうほう・みんなのスタジアム 会議室
参加者	各県代表者3名以内 大会視察員(希望県)
- (2) 東北六県委員長会議

日時	令和7年8月7日(木) 9:00～
場所	とうほう・みんなのスタジアム 会議室2
参加者	各県専門委員長(6名)

16 宿泊

宿泊要項は別紙とする。大会出場者(引率者・監督・コーチ・選手・マネージャー)の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。

17 その他

- (1) プログラムは一部1,700円。大会終了後に発行する全記録を記載した記録集は一部1,500円で販売し、ともに予約制とする。
- (2) 参加料・アスリートビブス代・熱中症対策費・プログラム代・記録集代は、チームごとに納入する。
- (3) 各県のアスリートビブス番号割り当ては、次の通りとする。

青森: 2001～2110	岩手: 3001～3110	宮城: 4001～4110
秋田: 5001～5110	山形: 6001～6110	福島: 7001～7110

- (4) 棒高跳のポールについては、あらかじめ競技場に移送してもよい。
*ただし、破損については一切責任を負わない。
- (5) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証(マイナンバーカード等)を持参することが望ましい。
- (6) 申込に使用する漢字は原則として常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は実行委員会へ相談すること。
- (7) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校(チーム)名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北

中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。

- (8) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。

※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、雷等、天候の影響で起こった場合も含む。

- (9) 大会中止となった場合、大会開催準備にかかった経費の差額分を参加者へ返金する。

- (10) 自然災害等により、緊急的な対応が想定される場合の連絡手段は福島県中体連陸上競技専門部 HPL を開設し連絡を行う。

18 連絡先

福島県中学校体育連盟陸上競技専門部委員長 渡部 裕也
〒965-0803 福島県会津若松市城前1-7 会津若松市立第二中学校
TEL : 0242-27-0715 FAX : 0242-29-3400
E-mail : fukushima7t.f@gmail.com
※問い合わせは必ず各県中体連陸上競技専門部委員長を通して行うこと。
(出場するチームや保護者が個々に問い合わせをしない。)